

千里の風

No.10
2013 年度歴史教育者協議会
全国大会・大阪
大会速報「千里の風」
編集・発行：現地実行委員会

閉会集会にご参加ください

閉会集会は 午後 3 時 30 分～5 時です。(15:30～17:00)

会場は 1 学者 B201 教室です。千里ホールの奥の学舎 2 階です。

(社員総会をした場所)

情勢について、基地問題、教科書、被災地の状況、支部活動や 65 回大会参加の感想、大阪から東京（来年度大会）への引き継ぎなどを行います。

宅急便の受付

料金着払いのみです。

12:00～15:30 まで

(16:00 に宅急便の車がきて搬出)

受付場所 本日の受付 (D棟3階 入り口)

閉会総会の場所では受け付けません。

お問い合わせは 担当 現地実行委員 河内ま

分科会の感想から (その1)

日本近現代史

高校日本史の近現代史をどのように教えれば、生徒に興味を持ってもらい、学習意欲を高めることができるかの糸口を探しに参加させていただきました。授業プランとしては、大阪歴教協で考案されたのが参考になりました。大正から戦後に至る歴史は「戦争」に向かう歴史で、私自身も教えながら息苦しいのですが、本庄先生の報告を聞かせていただき、その時代に生きた人の「生の姿」を、できるかぎり伝える形で授業内



容を膨らませることも必要だと思いました。また、私自身の、何かに対する研究が必要だと痛感しました。日・韓・台共通歴史教科書への取り組みは、これからどんどん広がっていきけるよう、何かお手伝いできたらと思いました。(大阪・30代女性)

地域の中の子どもたち

自分が子どもを育てるという世代になって、ようやく色々なものを「振り返る」という行為の大切さを考えました。「待つのが優しさ」だということを自分でもう一度かみしめながら「次の世代」へ自分ができることを考えていければ、思いました。有難うございました。(大阪・30代女性)

障がい児教育

児童・生徒の実態差と同じように学校・県ごとに様々な違いはあるが、共通する問題や課題について、意見を交換できてよかった。優れたレポートや熱い議論があり、官製の研究大会とは異なる自由で民主的な雰囲気の中で学ぶことができ、とても有意義であった。(鹿児島・20代男性)



幼年・小学校低学年

若い先生方の実践に対し、社会のしくみにせまる学習材という視点で議論が広がったのが大きな収穫でした。人や物を切り口に社会のしくみにせまり「見る目を育てる」という視点をもって今後の実践を積みたいと思います。(静岡・50代女性)

授業方法

授業が勝負 のはずの歴教協で「1時間の授業では勝負しません」と言う草分さんの発言にショックを受ける。そうか、高校では授業以外で生徒と関われないから授業で勝負せざるを得ないんだ。もっといろんな場面で子どもをよく見なさい！と怒られた気がした。感謝です。(千葉・男性)